

★ファンは深夜の寒さをものともせずマルイカのアタリに夢中になる



夜釣りが盛んな沼津エリアに 熱狂的なマルイカファン集結

駿河湾沼津内港出船
撮影●訓覇啓雄

★当日の釣り場は大瀬崎付近の水深26メートル、アンカリングし集魚灯を投下して狙う

▲直結仕掛けのゼロテンで釣る人が多かった



●夜釣りとはいえ船上は意外と明るい



◀当日は急激に水温が上がった影響かサバの邪魔が多く苦戦したが、数日後には復調
▶防寒対策は万全に



▲仕掛けは直結、直ブラ、プランコ、イカメタルなどお好みで。慣れていない人は直ブラ3本ツノのショート仕掛けがおすすめ。オモリ20〜40号を使用

▶イカメタルは比較的良型が乗った

◀この時期は胴長7〜10センチほどの小型主体



駿河湾沼津内港の秀丸はマルイカとタチウオを得意とする船宿。この冬はどちらも模様がよく、最初の予約で日々の釣り物が決まるスタイルながら、目下は連日熱狂的なマルイカファンが集い、トップで40〜50杯、いい日は3ケタ釣果も見られる好況に沸いている。夜釣りが盛んな当地は夕方出船の「早夜便」と真夜中出船の「深夜便」の2便体制を取っていて、通して乗船して一晩中マルイカ釣りを楽しむこともできる。週末は満船必至、どうぞ予約はお早めに。
(詳細は54ページ参照)

●駿河湾沼津内港・秀丸
小池 秀幸船長

